

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2-(ジブチルアミノ)エタノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖試験

試験番号 No. 2003-生73

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 2-(ジブチルアミノ)エタノール
- 2) 暴露方式： 半止水式 (週 3 回 (月、水、金曜日) に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, 4.6, 10, 22, 46, 100 mg/L
公比 ; 2.2
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 10 頭/試験区 (1 頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1 ℃
- 10) 照明： 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) pH： 試験液の pH調整は行わない
- 12) 分析法： GC 法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の濃度は換水前後の測定値から対数平均値を計算し、21 日間の時間加重平均値を求め、各影響濃度を算出した。

2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) : 61.8 mg/L (95%信頼区間 : 40.5 ~ 117 mg/L), Probit

50% 繁殖阻害濃度 (EC50) : 9.02 mg/L (95%信頼区間 : 8.31 ~ 9.78 mg/L), Probit

最大無作用濃度 (NOEC) : 4.38 mg/L

最小作用濃度 (LOEC) : 9.50 mg/L